



新東広島市立美術館開館 30 日前記念イベント

## 「棟方志功（むなかたしこう）と紡ぐ書のリズム」

東広島市立美術館は 11 月 3 日（文化の日）に移転オープンいたします。

この度開館を記念して 30 日前の、**10 月 3 日（土）** に当館所蔵作家の棟方志功の作品を題材に広島県立賀茂高等学校書道クラブによる書道パフォーマンスを行います。

書道パフォーマンスのほか、東広島市内にある全酒蔵の酒ラベルを展示いたしますので、東広島の酒文化とラベルデザインの関わりをぜひこの機会にお楽しみください。

■開催日時：2020 年 10 月 3 日（土）	14：00	東広島市教育委員会 生涯学習部 文化課 吉野健志氏による 「酒ラベルと酒蔵の歴史」解説
	14：50	広島県立賀茂高等学校美術クラブ創作活動の紹介
	15：00	同高校書道クラブ パフォーマンス 津軽三味線 民謡三橋流 三橋憲侑美氏（みはしのりうみ） 演奏
	15：30	パフォーマンス終了 松田弘館長あいさつ・イベント終了
■開催場所：新東広島市立美術館	1 階ロビー及びアートスペース	

## | 01 酒ラベルと酒蔵の歴史

東広島市では古くから酒造りが行われてきました。

当イベントでは、新美術館のロビースペースに酒ラベルを展示します。

棟方志功が手掛けた「白牡丹」の酒ラベルをはじめ、伝統的な技法で彩られた絵柄から現代的な表現を取り入れたデザインまで多彩な表現をご覧ください。

また酒ラベルの展示とあわせて、「酒ラベルと酒蔵の歴史」を解説します。

## | 02 美術クラブ 創作活動

広島県立賀茂高等学校の美術クラブが、棟方志功の作品からインスピレーションを受けて制作を行いました。

当館所蔵の棟方志功の作品「二菩薩釈迦十大弟子 目犍連の柵(にほさつしゃかじゅうだいでし もっけんれんのさく)」は、簡潔で力強く、ダイナミックな迫力にみちており、造形的な魅力があります。

作品を通して創作することの「楽しさ」を表現し、墨一色のモノトーンの世界に彩を添えます。

「絵」と「書」のコラボレーションをお楽しみください。

\*絵は事前に書道パフォーマンスを行う和紙に描いており、創作活動の様子は映像でご紹介します。

## | 03 書道パフォーマンス

開館を記念して、広島県立賀茂高等学校の書道クラブによる「揮毫(きごう)」を行います。

棟方志功は書の作品も制作しており、そのダイナミックな動きと字の形は、高校生の書道パフォーマンスに刺激を与えます。

棟方志功が実際に筆の制作を依頼した「仿古堂(ほうこどう)」にご協力いただき、筆や書について学び感じ取った思いを、書道パフォーマンスに込め披露します。

## | 04 津軽三味線 演奏

棟方志功の出身地である青森の伝統芸能、津軽三味線の演奏で書道パフォーマンスを盛り上げます。

本イベントでは、昭和の歌謡界を代表する歌手「三橋美智也」氏が家元である三橋憲侑美氏が演奏します。

太棹を用い、激しくかつ繊細な音色と旋律にのせて躍動感溢れる演奏をお届けします。

